



2020年4月10日

各位

会社名 Shinwa Wise Holdings 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 倉田 陽一郎
 (JASDAQ・コード2437)
 問合せ先 執行役員 経理部長 益戸 佳治
 電話番号 03-5537-8024
 (<http://www.shinwa-wise.com>)

2020年5月期通期連結累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向及び新型コロナウイルスの感染拡大による影響を踏まえ、2019年7月12日に公表いたしました2020年5月期通期連結累計期間(2019年6月1日～2020年5月31日)の連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年5月期通期連結累計期間の連結業績予想の修正(2019年6月1日～2020年5月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,726	79	34	22	円 銭 3.34
今回修正予想(B)	1,727	△294	△319	△324	△46.81
増減額(B-A)	△999	△374	△353	△346	
増減率(%)	△36.64	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年5月期)	2,932	△86	△134	△56	△8.66

2. 業績予想の修正理由

オークション関連事業においては、絵画の相場全体の下落によって当社が得意とする高額な良品の流通が市場全体で極めて少なくなっており、オークションへの出品誘致が難しい状況が続いております。新型コロナウイルスの感染拡大による影響も大きく、2月以降のイベント等の自粛要請及び4月7日付の政府からの緊急事態宣言の発令により、3月中旬以降及び4月に開催予定であったオークションの全てを延期しております。当社でも社員の安全を考慮して在宅勤務を実施しており、電話やメール等でオークションへの出品誘致やプライベートセール商談を行っておりますが、対面での営業活動や取引先を訪問して作品を集荷することができず、事業活動に支障が生じています。

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の効力の期限は5月6日までとされていますが、その効力の期限が更に延長される事態も考えられる状況にあります。5月以降にオークションを開催することについても確定できないため、当期末までオークションを開催することができないと想定し、2019年7月12日に公表いたしました2020年5月期通期連結累計期間(2019年6月1日～2020年5月31日)の連結業績予想について修正を行うものであります。

セグメント別には、オークション関連事業におきましては、オークション開催は3月以降3月7日陶芸オークション1回を開催したのみで、それ以降5月までで近代美術オークション、近代美術 Part II オークション、戦後美術&コンテンポラリーアートオークションを各2回、西洋美術オークション、

ワインオークション、MANGAオークションを各1回の計9回のオークションの開催を予定しておりましたが、開催の具体的予定は立たず、緊急事態宣言が解除された後すみやかに開催すべく準備を行いますが、3月以降の予想数字は前回予想と比較して約174百万円の売上減（主に手数料収入）、またプライベートセール等のオークション関連その他事業におきましても、前回予想と比較して約563百万円の売上減（主に商品売上高）を見込んでおります。

またエネルギー関連事業におきましては、売電事業は予定通り推移となる見込みですが、マレーシアのPKS事業は、政府によるすべての事業停止に従い、操業を停止している状況が続いており、前回予想と比較して約60百万円の売上減を見込んでおります。

セグメント別損益につきましては、売上の大幅減少により、売上原価及び販売費及び一般管理費も減少にはなりますが、3月以降の予想数字は前回予想と比較してオークション事業において約346百万円の減少、エネルギー関連事業において2百万円の減少を見込んでおります。

また、第3四半期連結会計期間で特別損失として投資有価証券評価損37百万円を計上しており、上記修正といたしました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

以 上